

令和7年度岩手県久慈保健所事業の実施状況【保健分野】

※ 実績は、特に断り書きがない限り、令和7年12月末現在である。(括弧内は参加人数)

1 被災住民への健康支援

被災者の健康保持とこころのケアのため、関係機関との連絡会や関係者の資質の向上を図るため研修等を実施した。

- (1) 野田村復興支援チーム定例連絡会：10回（今後2月、3月開催予定）
- (2) 久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会：1回（54人）
- (3) いきる支援セミナー：2月5日開催予定

2 生活習慣病予防の推進

脳卒中疾患及び心疾患の死亡率減少や減塩等の生活習慣改善の取組を促進するため、「健康いわて21プラン（第三次）〔令和6年度～令和17年度〕久慈保健医療圏」に基づき、関係機関と連携し、会議、研修会等の開催、事業所等への訪問等を実施した。

(1) 地域・職域連携の推進

- ア 久慈地域ヘルスサポートネットワーク会議：1回（3月上旬開催予定）
- イ 地域職域連携ワーキング：1回（4市町村）

(2) 健康経営の取組の推進

- ア 「いわて健康経営宣言」「いわて健康経営認定事業所」登録への働きかけ
- イ 「岩手県脳卒中予防県民会議」の会員拡大のための周知
- ウ メーリングリストによる管内企業への健康経営等の普及啓発（153社）
- エ 県北局経営企画部との連携による関係団体・事業所訪問（5事業所）

(3) 循環器病等予防緊急対策事業

- ア 「いわて減塩・適塩の日」普及促進（毎月28日）：庁舎内におけるのぼり旗の掲揚、普及啓発物品配架、岩手県公式YouTubeチャンネルで健康寸劇の動画公開
- イ 健康的な食事推進マスター活動支援研修：2回（57人）
- ウ 出前講座：5回（131人）
- エ 栄養成分表示の拡大講習会：9回（46人）（久慈管内栄養成分表示登録店 14店舗）

(4) がん対策

がん検診受診率60%にむけた集中キャンペーン及び乳がん予防月間（10月）：庁舎内県民ホール特設ブース展示

(5) 糖尿病性腎症重症化予防事業

- ア 糖尿病性腎症重症化予防連携会議及び研修：1回（2月19日開催予定）
- イ 糖尿病性腎症重症化予防地域連携の実施：医療機関から市町村への保健指導依頼体制の整備等

(6) 喫煙・受動喫煙防止対策

- ア 世界禁煙デー（5/31）、禁煙週間（5/31～6/6）における普及啓発：庁舎内県民ホール特設ブース展示
- イ メーリングリストによる管内企業への健康経営等の普及啓発（153社）
- ウ 施設管理者等説明会：9回（46人）
- エ 食品衛生協会久慈支部飲食店に対する巡回指導時の受動喫煙防止措置周知：1回（27店舗）

3 栄養改善

地域で栄養改善や健康づくり活動をする食生活改善推進員等の人材育成のため研修会や、特定給食施設に対する指導等を実施した。

(1) 食生活改善推進員地区組織の育成

- ア 久慈支部総会及び研修会：1回（49人）
- イ 食生活改善推進員を対象とした健康的な食事地域普及研修：1回（22人）
- ウ 地域経営推進費事業における健康講座：1回（46人）

(2) 特定給食施設指導

- ア 指導施設数（医療監視及び保育所監査と同時）：21施設
- イ 給食業務従事者研修：2回（57人）

4 歯科保健対策

口腔の健康づくりの推進のため、歯科保健医療に従事している歯科医師、歯科衛生士等の歯科専門職並びに保健医療、教育・保育関係者等に対する研修及び思春期歯肉炎予防として高校生を対象とした歯科保健講座を実施した。

(1) 研修会、講話等

- ア 久慈地域歯科保健医療従事者研修会：1回（22人）
- イ 高校生のための思春期歯肉炎講座：高校3校（60人）

(2) 「歯と口の健康週間（6/4～6/10）」における普及啓発

庁舎内県民ホール特設ブース展示

5 母子保健対策

医療機関、市町村及び保健所が相互に連携を図り、地域における妊娠期から子育て期までの切れ目のない継続した支援体制の構築、支援者の資質の向上及び思春期にある者へ正しい知識の普及を図るため、関係機関と連携し連絡会、研修会を実施した。

また、不妊治療の経済的な負担軽減のための交通費助成、小児慢性特定疾患医療費支給認定等を行っている。

(1) 関係機関との連携

久慈地域母子保健医療連絡会：4回（38人）（今後1月、3月開催予定）

(2) 研修等の開催

妊産婦メンタルヘルスケア研修会：1回（2月開催予定）

(3) 思春期保健講座：高校1校（49人）

(4) 特定不妊治療交通費助成

特定不妊治療を受けた方の経済的負担を軽減するため通院にかかる交通費一部助成
助成件数：2件

(5) 小児慢性特定疾患医療費支給認定

受給者数：36人（令和7年12月末）

6 感染症対策

感染症の発生時に対する平時からの準備や研修、訓練を行い、発生時の積極的疫学調査、現地指導を行い感染拡大防止に努めているほか、住民への普及啓発、高齢者施設等を対象とした感染症予防対策研修の開催、感染症発生状況情報提供などを実施した。

[全数把握疾患の発生件数] (令和7年1～12月まで)

類型	疾患名	件数	発生日	R6件数(1～12月)
一類		0		0
二類	結核	9	1月(1)、2月(1)、4月(1)、5月(1)、7月(1)、8月(3)、11月(1)	13
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5	7月(1)、8月(4)	0
四類	レジオネラ症	3	3月(1)、7月(1)、9月(1)	5
五類 (うち 全数把握疾患)	梅毒	0		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0		1
	百日咳	144	4月(36)、5月(28)、6月(58)、7月(15)、8月(9)、10月(2)、11月(1)	0

[集団感染の発生件数] (令和7年1～12月まで)

類型	疾患名	件数	発生日	R6件数(1～12月)
五類	感染性胃腸炎（ノロウイルス）	2	2月(1)、5月(1)	1
	感染性胃腸炎（ノロを除く）	0		0
	インフルエンザ	63	1月(9)、2月(5)、11月(40)、12月(9)	23
	新型コロナウイルス感染症	10	1月(1)、2月(1)、4月(1)、7月(1)、8月(2)、10月(1)、12月(3)	29

- * 保育所、学校におけるインフルエンザは、施設の休業措置に至ったものを計上
- * 新型コロナウイルス感染症は、クラスター公表に至ったものを計上

(1) 感染症発生時の対応

発生にかかる積極的疫学調査の実施及び保健指導、施設調査及び感染対策指導

ア クラスター発生時対応

感染性胃腸炎集団発生：1件（令和6年度2件）

新型コロナウイルス感染症：8件（令和6年度22件）

インフルエンザ：49件（令和6年度20件）

(2) 感染症発生動向状況の情報提供

毎週金曜日に関係機関へ情報提供

(3) 研修、訓練の実施

ア 感染症予防研修会（市町村職員、高齢者施設、教育保育施設等）：（2月開催予定）

イ 鳥インフルエンザ発生時対応実動訓練（市町村、保健所）：1回（48人）

ウ 鳥インフルエンザ等発生時対応訓練（市町村、久慈合庁職員）：3回（市町村職員21人、久慈合庁職員27人）

エ 鳥インフルエンザ等家畜防疫作業支援班研修会（県北局）出席：9月（3人出席）

オ 鳥インフルエンザ等家畜防疫作業支援班研修会（講師）：1回（33人）

【鳥インフルエンザ等発生時対応訓練】

鳥インフルエンザの発生から防疫作業従事者の健康調査までの流れについて講義を行い、その後、作業従事者と健康調査する側に分かれて受付から防疫作業に出発するまでの流れを実際に体験した。また、参加者全員で個人防護具の着脱訓練を行った。

1 開催日 令和7年11月18日、21日、12月1日

2 場所 久慈合同庁舎 1階健康増進室

3 出席者 市町村職員21人、久慈合庁職員11人、久慈保健所16人 計48人

4 内容 講義：「鳥インフルエンザ発生時の対応について」

「家畜防疫作業従事者に対する健康調査の実施について」

演習：「健康調査の実際」、「個人防護具の着脱訓練」



講義



健康調査訓練



個人防護具着脱訓練



個人防護具着脱訓練

(4) 所内における相談窓口、検査等の開設

- ア エイズ相談、HIV抗体検査：9回（6件）（令和6年度12回3件）
- イ 肝炎ウイルス検査、相談：9回（4件）（令和6年度12回7件）
- ウ 性器クラミジア病原体検査、相談：9回（5件）（令和6年度12回4件）
- エ 梅毒検査、相談：9回（6件）（令和6年度12回4件）
- オ HTLV-1抗体検査、相談：9回（0件）（令和6年度12回1件）
- カ その他感染症に係る相談：1件（令和6年度1件）

(5) 鳥インフルエンザ発生に備えた対応

- ア 所内職員体制及び発生時対応マニュアルの整備
- イ 鳥インフルエンザ発生時対応訓練（市町村、合庁職員）：3回（48人）（再掲）
- ウ 鳥インフルエンザ等発生時対応研修会（合庁職員）出席：9月（再掲）
- エ 鳥インフルエンザ等家畜防疫作業支援班研修会（県北局）出席：9月（再掲）

(6) 結核対策

- ア 患者に対する服薬指導等（家庭訪問等）：延73件（令和6年度延306件）
- イ 感染症診査協議会の開催：13回
- ウ 接触者健康診断：所内201件（令和6年度96件）、病院委託21件（令和6年度12件）
- エ 管理検診：病院委託15件（令和6年度8件）、定期病状調査：0件（令和6年度6件）
- オ 「結核予防週間（9/24～9/30）」における普及啓発：庁舎内県民ホール特設ブース展示、高齢者施設へのパンフレット等配布
- カ 出前講座での普及啓発：2回

(7) 肝炎対策

- ア 肝炎ウイルス検査、相談：9回4件（令和6年度12回7件）（再掲）
- イ 肝炎治療特別促進事業（医療費の助成）受給者数：78人（令和7年12月末）

(8) エイズ・性感染症等対策

- ア 検査等
 - エイズ相談、HIV抗体検査：9回（6件）令和6年度12回3件（再掲）
 - 性器クラミジア病原体検査、相談：9回5件（令和6年度12回4件）（再掲）
 - 梅毒検査、相談：9回（6件）（令和6年度12回4件）（再掲）
 - HTLV-1抗体検査、相談：9回（0件）（令和6年度12回1件）（再掲）
- イ 「世界エイズデー（12/1）」における普及啓発の取組：庁舎内県民ホール特設ブースや久慈市情報交流センターにレッドリボンツリー等の設置、道の駅への普及啓発物品の配架等

7 こころの健康づくり・自殺対策

管内の自殺死亡率の減少のため、自殺対策アクションプラン（令和6年度から令和10年度）に基づき関係機関との連携、協力を図りながら、包括的な自殺対策プログラム（久慈モデル）を実施した。

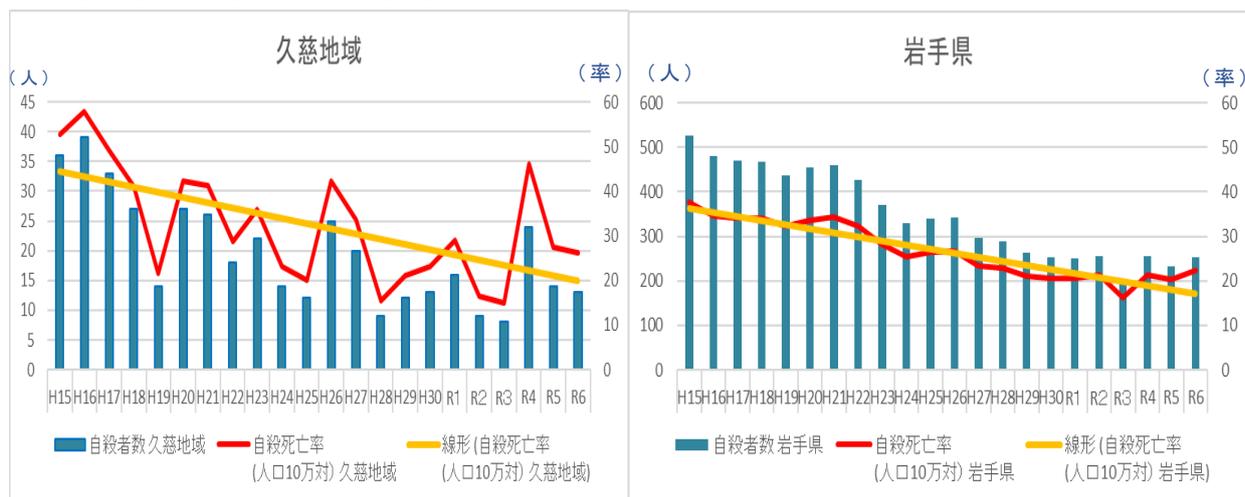
〔年次別自殺死亡率・自殺死亡者数〕（人口動態統計）

（R6は人口動態統計を基に久慈保健所が算出）

人口10万対自殺死亡率（自殺死亡者数(人)）、○数字は自殺死亡率全国順位

	R2	R3	R4	R5	R6
久慈地域	16.5(9)	15.0(8)	46.0(24)	27.4(14)	26.1(13)
岩手県	①21.3(256)	②⑥16.2(193)	②21.3(255)	④20.2(233)	①22.3(253)
全国	16.4(20,243)	16.5(20,291)	17.4(21,252)	17.4(21,037)	16.3(19,594)

〔自殺者数・自殺死亡率の推移〕



(1) ネットワーク

- ア 久慈地域自殺対策推進ネットワーク会議：1回（3月6日開催予定）
- イ 久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会：8回（延 459人）
- ウ 市町村等こころのケア担当者連絡会：8回（延 156人）

(2) 一次予防（こころの健康づくりの普及啓発）

- ア いきる支援セミナー：1回（2月5日開催予定）
- イ ゲートキーパー養成研修（職域等）（通年）：7回（302人）
- ウ 傾聴ボランティアフォローアップ研修：1回（32人）
（こころのサポーター養成研修と同時開催）
- エ 「こころに寄り添い いのちを守る いわて」月間（9月・3月）における普及啓発：庁舎内県民ホール特設ブース展示、県北局 SNS による周知
- オ 管内中学校、高校卒業生に対する普及啓発：3月予定
- カ 普代村こころとからだの健康教室：2回（17人）

(3) 二次予防（相談窓口・ハイリスク者支援等）

- ア 専門医による精神保健福祉相談（毎月1回）：9回（33件）（令和6年度12回34件）
- イ 不登校、ひきこもり専門相談：2回（6人）（令和6年度3回5人）
- ウ 市町村実施のうつクリーニングへの支援：野田村3日間

(4) 三次予防（自死遺族ケア）

- 自死遺族交流会：4回（延 13人）（1月・3月開催予定）（R6年度6回19人）

(5) 精神疾患へのアプローチ

- ア 精神障害者（家族）の相談支援（通年）
- イ アルコール相談：8回（1件）

(6) 職域へのアプローチ

- ア 事業所訪問：5か所
- イ 働くひとのメンタルヘルス研修：7回（302人）（再掲）

8 精神保健福祉対策

精神障害者の早期治療の促進及び地域住民の精神保健の保持増進を図るため、専門医や保健師による相談、通報時緊急対応、ひきこもり対策として居場所づくり、支援者に対する研修会、アルコール関連対策として、相談日の開設や断酒会への支援を行った。

また、精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費（精神通院）受給者証の交付事務を行った。

(1) 精神保健に係る対応

- 通報等緊急対応件数：27件（警察官通報、その他相談による）（令和6年度23件）

(2) 精神保健相談

- ア 専門医による精神保健福祉相談(毎月1回):9回(33件)(令和6年度12回34件)
- イ 保健師等による面接相談:84件(令和6年度119件)
- ウ 保健師等による電話相談:67件(令和6年度100件)
- エ 保健師等による訪問指導:60件(令和6年度34件)

(3) 精神障がい者社会復帰促進事業

訓練者:0人(令和6年度1事業所1人)

(4) 精神障害者福祉手帳等の交付

- ア 精神障害者保健福祉手帳受給者数:778人(令和7年12月末)
- イ 自立支援医療費(精神通院)受給者数:1,517人(令和7年12月末)

(5) ひきこもり対策

- ア 不登校、ひきこもり専門相談:2回(延べ6人)(令和6年度3回5人)
- イ ひきこもりの若者の集まり、家族会:9回(延30人)(R6年10回31人)
- ウ ひきこもり相談支援者研修会:1回(22人)(R6年1回27人)

(6) アルコール関連問題対策

- ア アルコール相談:8回(1件)(R6年度12回3件)
- イ 断酒会支援
- ウ アルコール関連問題啓発週間(11/10~11/16):ポスター等掲示による周知

9 難病対策

在宅難病患者の療養を支援するため、患者及びその家族への相談や家庭訪問を行った。また、難病のうち指定難病患者への医療費の公費負担にかかる特定医療費(指定難病)申請事務を行った。

- (1) 受給者数:463人(令和7年12月末)
- (2) 家庭訪問件数:3件
- (3) 日本ALS協会岩手県支部活動支援:1回

10 臓器移植・骨髄ドナー登録

骨髄ドナー登録の推進のため、臓器移植に関する普及啓発を行うとともに、登録会を開催した。

- (1) 定例骨髄ドナー登録:月1回開催(9回) 1~3月開催予定
- (2) 移動献血並行型骨髄ドナー登録会:1回(4人登録) 2月1回開催予定

11 保健・看護人材育成

管内の保健活動の情報交換や事業の推進のため、統括保健師連絡会の開催や管内の新任期をはじめとする保健師の人材育成のため研修会を開催した。また、学生の実習を受け入れ、指導を行った。

- (1) 統括保健師等連絡会:1回(10人)
- (2) 新人保健師研修会:1回(6人)
- (3) 学生実習指導 保健師・看護師:2校(学生4人) 管理栄養士:2校(学生3人)

12 小規模町村支援

普代村における保健師の確保状況、保健師が従事する業務の状況等を考慮し、地域保健の提供体制の維持・確保を緊急的に支援するため、普代村に保健師を派遣した。

- (1) 派遣職員:週2日、1名派遣
- (2) 主な業務
 - ・ 保健師の人材育成に関すること
 - ・ 地域保健業務に関すること

健康危機対応について

【大船渡市林野火災に係る対応について】

(1) 火災の概要

- ・発生場所：大船渡市
- ・発生日時：令和7年2月26日（水）13時02分 大船渡消防で火災発生覚知
- ・延焼範囲：約3,370ha
- ・鎮火日時：令和7年4月7日 17:30

(2) 派遣要請

- 令和7年3月2日（日）大船渡市から県に保健師の派遣要請
- 令和7年3月4日（火）健康国保課から保健所及び市町村に保健師等応援派遣依頼

(3) 派遣の概要

- ・活動場所：大船渡市内（大船渡市保健センターを拠点）
- ・活動内容：避難所の巡回健康相談・要フォロー者の体調確認
避難所の環境整備、ニーズ把握
在宅避難者等への訪問（体調確認等）
気仙圏域保健医療福祉会議（毎日16時から）へ参加
大船渡市保健センター、大船渡保健所の支援全般
- ・派遣期間：令和7年3月5日～令和7年4月11日
- ・派遣状況：延べ232人
内訳：保健師163人、ロジ兼運転手69人
市町村チームは3/10から派遣
（県派遣129人、市町村派遣103人）

(4) 久慈保健所の対応

- ・応援保健師（市町村・保健所）の研修会を開催
令和7年3月7日（金）：14人出席
- ・職員を派遣（洋野町との合同チーム）
令和7年3月10日（月）保健師1人、ロジ1人
11日（火）保健師1人、ロジ1人
12日（水）保健師1人、ロジ1人
13日（木）保健師1人、ロジ1人

(5) 管内市町村の対応

- ・洋野町：保健所との合同チームで派遣
令和7年3月10日（月）保健師1人
11日（火）保健師1人
12日（水）保健師1人
13日（木）保健師1人
- ・久慈市：単独チームで派遣
令和7年4月10日（木）保健師2人、ロジ1人
令和7年4月11日（金）保健師2人、ロジ1人



－全体ミーティング－



－保健師チームのミーティング－



－在宅避難者訪問－



－避難所訪問－



－三陸町綾里港地区①－



－三陸町綾里港地区②－